日本関節運動学的アプローチ医学会理学・作業療法士会ニュース

Vol.60　2020.8

§日本AKA医学会理学・作業療法士会　ホームページのお知らせ

http://akaptot.com/

§『重要なお知らせ』

本会におきましては、新型コロナウイルス感染拡大・予防の観点から**今年度のすべての事業を中止もしくは延期**することになりました。当会は学術団体であり、その主な事業となる学術集会や研修会を開催できないということは誠に遺憾であります。今年度におきましても引き続き技術研修コースや学術集会の参加をお考え、心待ちにされていた皆様のご期待に応えることができず大変心苦しいですが、何卒状況ご理解の程宜しくお願い申し上げます。
現状として当会理事会で検討の結果、予定されています事項につきましては同封の総会資料内第3号議案にもあります、以下についてです。
ご意見の有無につきまして**皆様もれなく**同封のはがきにご記入の上、ご郵送下さい。

＊はがき「確認書」締切　9月末日必着＊

・2020年度当会事業の中止・延期について
2020年度の当会事業については、そのいずれも中止・延期とする。延期の具体的な内容については情報収集・協議の上決定する。再開の際は開催のガイドラインを定め、それに基づく健康チェックや所謂「三密」を防止する環境設定等を実施する予定である。

・事業中止にかかわる資格更新期間変更について
現在、認定更新期間は5年としているが上述の通り当会事業の中止・延期に伴い、単位取得が困難となることが予想されるため、以下の通り特例措置を行う。
① 対象：令和2年度に会に籍を置いている有資格者
② 令和2年度は更新期間5年に含めず単位取得期間を延長し6年間とする
③ 令和3年度も事業中止が継続する場合は再度更新期間の検討を行う

・2021年度更新手続きについて
2021年度の会員更新手続きについては、上述の2020年度当会事業中止・延期を受け、2021年度分の年会費を徴収せず、無手続きでの更新とする。なお、年会費自動払込登録会員からも当然年会費徴収（引き落とし手続き）は行わない。

§第 21 回学術集会（山梨）開催について

延期されておりました、第 21 回学術集会（山梨）ですが、先日の臨時理事会において、2021 年 11 月開催を目指し、準備を進めることが承認されました。

現在も新型コロナウイルス感染拡大が続く中、今後の状況が読めない難しい状況ではありますが、皆さんのご期待に添えるような学術集会になるよう、準備を進めてまいりたいと考えております。

開催日時、会場、開催方法など、詳細につきましては決定次第、ニュースやホームページに随時掲載させていただきますので、ご確認のほどよろしくお願い申し上げます。

第 21 回学術集会　会長　川野正巳

§リレーコラム（第 19 回）

「AKA-博田法で学んだこと」

佐倉整形外科病院　真砂恵一

引退という文字がだんだん近づいてきた老兵から若い会員さんへ、今まで学んだことやＡＫＡをやってきた思いなど綴ってみます。

① 『継続は力なり』、ＡＫＡを習得するのにぴったりな言葉です。とにかく続けて下さい。続ければ時間はかかるかもしれませんが、誰でも臨床で患者さんが呼べるようになります。

② 肝に銘じてきたことは、『プロの理学療法士』を目指しなさいと言われた事です。野球に例えれば投げる・走る・打つアマチュアレベルなら誰でも出来ますが、プロ野球選手のレベルとなると容易な努力ではなれません。
リハビリテーションの中での理学療法士の立ち位置を理解し、理学療法の対象、目的、手段を理解し、その中でＡＫＡをどう使っていくかが大切と教えられ、変なプライドを捨て、たかが理学療法されど理学療法と理学療法の難しさを再認識させられました。

③ 『技術の習得』練習においては、集中して反復する事、講習会に参加する時にはテーマを持って参加したほうがより効果的です。
さらに簡単に習得できる技術はあまり役に立たない。これは技術に限らず、医療の世界以外の免許や資格でも同じはずです。

私のＡＫＡは勘違いから始まりました。痛みを治す技術があるらしいとの思いから始まりましたので、すぐに効果が出るはずもなく三日坊主で止めてしまいました。この時の私はスポーツや料理ができないのは自分の技術の拙劣さと自覚はできるのですが、なぜか治療効果が出ないのはＡＫＡという技術が効果的でないと思ってしまいました。あの頃の自分に技術とは云々と言い聞かせたい。

その後運のいい事に、博田先生の診察を毎月見学できる機会に恵まれ、目の前で自分の知識では理解できないことが起こるのですが、目の前で起こった事実は否定しがたく、もう一度ＡＫＡをやってみようと思いました。しかし、自分の住んでいる山口県にはＡＫＡをやっている人は誰もいない、ならば大阪に行こうと毎月通い始めました。そうこうしているうちに、毎月20年以上にわたり勤務する病院でご指導賜ることができ、刺激的でワクワクする世界に30年以上参加する事ができ、幸せなＰＴ人生を過ごしています。

最後に現在勤めている佐倉整形外科病院での外来新患者数を調べてみました。コロナ騒動で多少落ちたものの、6月には新患300人を超え今年、来年とセラピストの補充をしなければ仕事が回らない状況になってきました。

いわゆるリハビリだけでなくＡＫＡを考慮した理学療法を行う診療では、こんなに早く外来患者が増え、医療圏が広がり、医業収益も増収、それが地域貢献につながっています。患者さんから感謝され、親戚知人など紹介される、人間感謝されたり、認められる事は嬉しいものです。やはりＡＫＡは唯一無二の治療法であり理学療法には不可欠と今更ながら実感しています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2020年	263	193	245	197	246	310						
2019年	266	217	258	221	261	269	250	266	236	225	232	224
2018年	230	225	252	240	271	253	267	237	208	236	285	265

佐 倉 整 形 病 院 外来新患数

§都道府県別会員数　　１１１４名　（令和２年７月27日現在）

北海道	7	青森	1	秋田	6	岩手	4	宮城	5	山形	17
福島	7	茨城	5	栃木	33	群馬	10	埼玉	30	千葉	48
東京	53	神奈川	100	新潟	1	富山	2	石川	1	福井	2
山梨	139	長野	6	静岡	22	岐阜	7	愛知	28	三重	1
京都	19	滋賀	9	奈良	15	和歌山	11	大阪	108	兵庫	27
岡山	10	広島	15	島根	5	鳥取	11	山口	46	徳島	25
高知	14	香川	20	愛媛	11	福岡	55	長崎	32	熊本	13
大分	13	宮崎	2	鹿児島	8	沖縄	10				

§日本 AKA 医学会理学・作業療法士会

事務局　E-mail：aka-pt@dream.ocn.ne.jp（**お問合せは E-Mail でお願い致します**）

（編集後記）

編集段階（R2.7 月末日）では、コロナ禍は第二波とも思えるような状況が続いています。前号発行から数か月が経ち、不十分ながら少しずつ色々なことが解ってきているようです。注意すべきウイルスの要素としては ①増殖力 ②免疫反応 ③感染部位 ④伝播力という４要素があるようで、今回の新型ウイルスはこの４要素全てに当てはまるところがありやっかいなもののようです。今後短期的には病原性が強まる可能性がありますが、かなりの？長期的には普通の風邪の如く弱くなる可能性もあるとのことです。時間が必要ですが、ワクチンが開発され接種が広まれば学術集会や研修コースも安心して開催できると思います。

そんな中ですが、先日‘YouTube’で『真髄　打つ　王貞治』というチャンネルを見つけました。30 年程前の 40 数分程度の番組で、王さんが自身のバッティング理論・技術についてとても解り易く話してくれているのですが、AKA-博田法の（理学・作業療法も含む）技術にも共通するような話があって実に面白くて、流石世界のホームラン王はすごい！と感じました。会員の大半の方は現役時代の王さんをご存じでないでしょうが、お時間があれば是非視聴されてみてはいかがでしょうか。

今回のリレーコラムは当会常任理事の真砂先生が執筆して下さいました。明瞭で、核心的な内容で、編集者もこれまでのことを思い返して拝見しました。皆さんも参考にされて下さい。

今号には昨年７月に大阪で開催された第 20 回学術集会の内容を記した会誌と総会資料を同封しています。会誌は博田先生の素晴らしい特別講演をはじめテーマであった‘今後の道標’となる内容が記載されていると思います。今年度は学術集会が延期となり例年の形で総会が開催できないため、資料を送付し決議についてはハガキの返信結果で決裁させて頂く形態となりました。つきましては皆さん各自ご記入の上、速やかにハガキの郵送をお願い致します。何卒宜しくお願い致します。